

では、おはようございます。私たちの毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。日曜日の朝は、2つの礼拝を行っていて、第一礼拝は「聖書預言・アップデート」に捧げ、第二礼拝は、節ごとの「聖書の学び」です。ハワイ時間 11 時 15 分からです。是非ご参加ください。現在「テトスへの手紙」で、今日の箇所は 3 章 1~7 節、題して「非常に必要な念押し」です。皆さん是非ご参加ください。また「預言・アップデート」を Facebook や YouTube で見ている方には JDFarag.org に直接行かれることをお勧めします。その理由は、検閲不可で完全版のアップデートのライブ配信・また一旦終了後の本編の全ては、新サイト上のみでご覧になれるからです。YouTube や Facebook は、イントロダクションだけである時点、おそらく今日の中盤で、このライブ配信を終了し、ウェブサイトだけになります。では、始めましょう。今日のアップデートでは、いつもと少し違った方法でこの 1 年間に主が私の心にくださったことをお伝えしたいと思います。特に、賛否両論の意見が飛び交う中で、誰を、また何を信じていいのかわからないという問題に関連していると思います。そのために、先週に引き続き、今週も別の慣用句を取り上げて取り組んでみます。今週は、「決めかねる」というよく知られている慣用句です。それは、この曖昧さ、決断力のなさ、異なる意見の間で揺れることを表しています。この問題についての意見の相違は、救いの問題ではありません。こんにち、私たち一人ひとりが直面している最も重要な問題であると言えます。なぜ他の人がそのような立場をとっているのか私が見ているフリをしているわけではないのをご理解ください。それよりも、なぜ私がこの 1 年間、この問題で揺るがなかったのか、その理由をシンプルに、そして謙虚にお伝えしたいのです。私が共有するものが、特にこの問題に関して、多くの分裂や混乱を目の当たりにしてきた人々の励みや助けになることを願っています。よろしければ、まず主が私に教えてくださった 4 つの教訓をご紹介します。これは、私自身がこのような状況の中で学んでいることです。そしてその後、神の御言葉からそれらを説明したいと思います。

1 つ目に主は、たとえ私が教えるどころか聞きたくなくても、御霊が教会に語ることを聞く耳を持つようにと教えてくださったということです。私が何度「主よ、無理です。できません。」となったか、皆さんがご存知だったなら、それに対して、主は「するのです。」と仰います。「だめです。主よ、これは非常に重い。聞きたくないし、ましてや話したくもありません。」となりました。

主が私に教えてくださった 2 つ目は、本当に重要で

「信じるが見ること。」で信仰により歩むことです。一方で「見るのが信じる」とは見て歩むことです。皆さんそれが分かりましたか？ 世俗的な言葉ですが、「百聞は一見にしかず」という言葉がありますよね。間違っています。これについては後ほど詳しく説明しますが、逆です。見るのが信じるのではなく、信じるが見ることなのです。

### 「正しいものは信仰によって生きる」(ガラテヤ 3:11)

3 つ目は、これは意外かもしれませんが、しかし、主が私に教えてくださった 3 つ目は、聖書預言は真実だということです。ショックですよね？ 主は私に聖書預言を教えてください。「ちょっと待ってください、牧師さん、あなたが聖書預言を教えてくださいよね。」はい、でも主が私に聖書預言を教えます。いかかでしょうか。そして、私に聖書預言を教えてくださいながら、主はまた、聖書預言により、これがその終わり方だと教えてください。そして聖書預言によれば、この世の生活は決して元に戻ることはありません。

4つ目。主は私に、この世での命を手放し、この世への希望を持たないようにと教えてくださっています。これは、これまでも今も変わらないプロセスですがこれについても後ほどお話しします。繰り返しになりますが、私は決して意見の違う人たちについて、話しているわけではありません。むしろ私は、主がこれらすべてを通して、私に教えてくださっていることについて話しているのです。また、私にはまだ長い道りがあることも知っておいてください。自分を否定し、自分の十字架を背負い、イエスの弟子としてイエスに従う、日々の信仰の戦いです。日々です。日々とは何かご存知ですか？ 大変深遠です。毎日です。日々毎日。そこでもしよろしければ、このことを神の御言葉から説明させてください。まずは、神が長年に渡り私に教えてくださっている最もパワフルなレッスンのひとつをご紹介します。それはエリヤの人生で、特に深い落胆と絶望の時にあります。「わ～牧師さん、落ち込んでいるのですか？」本当に？ 皆さんが、ご存知であったなら、しかし、神は、そのような時の私の人生にエリヤを用いてくださいました。実はそれは別の機会の別のトピックです。それは「第1列王記19章」に記録されていますが、その前の「第1列王記18章」での出来事を先に見たいと思います。ここで、何が起こるのか、というよりも、エリヤが何を呼び起こすのかについて、簡単な説明です。この頃神の民は、偽りの神バアルと、真の生ける神イスラエルの間を行ったり来たりしていました。神の民を危険から離すために、神はエリヤに、この問題を解決するためのコンテスト/競争を開催させられました。ここが興味深いところです。バアルの崇拝者たちは、この偽りの神バアルが稲妻、風、天候、雨に力を持つ嵐の神であると信じていました。これは非常に重要なことであり、さらに興味深いことに、この時点で彼らは深刻な飢饉の真っ只中にいました。しかし、神は、このコンテストの後、雨を降らせてくださいます。というのも、彼らの雨の神は神ではないので、雨を降らせることができないのです。「しかし、どうやらそれを知らないようなので、そのことを知らせなければなりません。」「そして私は非常にドラマチックな方法で行います。」この記述が大好きです。全お気に入りの箇所と共に、私のお気に入りの一つです。[第1列王記18章21節](#)、すべての民が集まっている勝負の日に、

「エリヤは皆の前に進み出て言った。『おまえたちは、いつまで、どっちつかずによろめいているのか。もし主か神であれば、主に従い、もしバアルが神であれば、バアルに従え。』しかし、民は一言も彼に答えなかった。』彼らは黙ったままだったのです。試合開始です！ だからこそ、神はユーモアのセンスがあられると思うのです。そこでエリヤは、バアルの預言者たちに、「あなたたちが先攻で構わない。」と言います。「いけにえを用意し、祭壇を準備し、水をかけよう。」「飢饉で水が不足しているのはわかっているが、ここに水を満たそう。」

**「おまえたちは自分たち火の神バアルの名を呼べ。」(第一列王記18:24参照)**

きっと彼もそのように言ったのでしょう。そして、彼らはバアルに祈りを捧げ始めます。返事はありません。そして、エリヤは、私がエリヤの好きなところ、天国で会うのが待ちきれません。彼はそれを楽しみ出すのです。「どうしちゃったの～？」彼はそれが偽りの神であることを知っていて、真の生ける神を知っているのにです。彼はこう言います。「たぶん聞こえないだろう。もっと大声で叫ぶがいい。」そして彼らは大声を張り上げます。叫んで、喚きまくりです。ずっと答えはないままです。そしてエリヤは、これはさらによくなります。そして、彼は彼らによく話し始めるのです。ところで、これは元の語源です。よろしければ、ご確認ください。

「彼はくつろいでいるのかもしれない」(第一列王記18:27参照)

いえ、翻訳したら、「トイレに行っているのだろう。だからおまえたちの声が聞こえないのだ。」

「彼は忙しいんだろう。」そこで彼らは習わしに従って体を傷つけ、血を流すまでに至りました。興味深いです。でも答えは来ません。このような状況が続き、最終的にエリヤは、「おまえたち！もうよい。どきなさい。」「ああ、そうだ、もっと水をかけてくれ。」「いや、それだけでは足りない、もっと注いでくれ。」「もっと？」「そうだ。」「いや、それだけでは足りない、もっと注いでくれ。」つまりこれは水に浸かっています。彼は一度だけ、真の生ける神を呼びます。すると、火が降ります。今の言葉ではあまり使わないフレーズなので、原文のままが好きです。しかし火が全焼のささげ物を焼き尽くしただけでなくこのような考え方もあるのです。祭壇を焼き尽くし、水をすべてなめ尽くしたのです。全てをなめ尽くしたと言う意味です。はい、彼はすべてを燃やす炎です。

**38 「すると、主の火が降り、全焼のささげ物と薪と石と土を焼き尽くし、溝の水もなめ尽くした。」**

ああ、これで一件落着ですね。

**39 「民はみな、これを”見て”ひれ伏し、(これを見てから/見た後に)『主こそ神です。主こそ神です。』と言った。」**

「確か、数時間前にはそんなこと言ってなかったな。」なぜ私はこの記述から始めるのでしょうか。その理由は、どうか最後までお聞きください。私は個人的に、バアルという神は今も健在だと信じます。必ずしもその名で知られているわけではありません。罪を守るために名前は変えてあります。当時のようなバアルの神ではありません。今日では、それは科学という神、偽の科学の神です。そして、ここからが本題なのですが、私たちは、科学に聞く耳を持ち、耳を傾けることが必要だと言われています。いいえ結構です。私には聞く耳があり、科学をお創りになった神に耳を傾けます。これは、2つ目の「信じることは見ることも通じるものがあります。聖書の中には、この真理が繰り返し示されています。私にとって、その最も良い例の一つが「出エジプト記」にあります。よくご存知でしょう。イスラエルの民は、エジプトの奴隷状態から解放されたばかりです。世の予型です。覚えておいてください。そして今、彼らは紅海にたどり着きましたが、問題は、目の前が紅海だということです。そしてさらに悪いことに、エジプト軍がすぐ後ろまで追ってきています。ただ、神が彼らを遠ざけるために立てたこの柱に阻まれているだけです。そして、民たちは文句を言い始めるだけでなく彼らは実際に、神が彼らを殺すためにそこに連れてきたんだと非難し、何度もそう言います。

**「我々を連れ出したのは、エジプトに墓がないからですか。荒野で死なせるためですか。」(出エジプト 14:11)**

う～　そこで、神は何をなさるでしょうか。彼は憐れみ深い神で、恵み深い神で、怒るのに遅～く、忍耐強いお方です。彼は海を二つに分け、イスラエルの民に海の中の乾いたところを通らせられました。(出エジプト 14:16 参照)

そして、彼らは向こう側に行った後、「ハレルヤ～」主を賛美します。ミリアムが彼らを礼拝に導きます「主よ感謝します！」エジプト人を溺れさせてくれてありがとうございます。実際にそうなると言われていましたから。火が取り除かれれば、彼らが追いかけてくるからです。

**出エジプト記 14章 30-31 節**

**「こうして主は、その日、イスラエルをエジプト人の手から救われた。イスラエルは、エジプト人が海辺で死んでいるのを見た。」**

**「イスラエルは、主がエジプトに行われた、この大いなる御力を見た。それで民は主を恐れ、主とそのしもべモーセを信じた。」(出エジプト 14:31) / 見る事が信じる事**

待ってください。それは、彼らが見た 10 の災いの後、何日、何時間後だったのでしょうか？ あれは奇跡です。10 の奇跡。彼らはそれも見て信じたのです。そして今紅海にたどり着き、出エジプトで、彼らは因みに、急いでエジプトから逃げて、その後、何時間か何日かはわかりませんが、彼らは紅海にたどり着いて、神はまた奇跡をなさってくださいます。さて、彼らの「百聞は一見にしかず」は、これまでの 10 の奇跡では足りなかったようです。あまり長続きしませんでした。まあ、今も長くは続かないでしょう。エリヤの時のように、彼らは見てから信じるのです。しかし問題は、見ることは信じることで、目で見て歩むことなら、あまり前進することはできません。実際には、3 日しかもたないのです。

## 出エジプト記 15 章

**22 モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩いた。しかし、彼らには水が見つからなかった。**

三日間。

**23 彼らはマラに来たが、マラの水は苦くて飲めなかった。それでそこはマラという名で呼ばれた。**

「民はモーセに向かって、再び不平を言った。」(出エジプト 16 : 24 参照)

72 時間後ですよ。ところで、これは実際に起こったことなんです。皆さん想像できますか？ 背後にエジプト人が迫っていて、前には紅海があります。これで終わり、という感じです。私たちは何をするというのだろうか。そのとき、神が紅海を二つに分けてくださいました。乾いたところがあります。ああ、これではっきりしましたね。私はここを行けばいいのですね。それを私は "紅海の一目瞭然"と呼んでいます。私は祈るとき、こう祈ります。

「主よ、"紅海の一目瞭然"のように明確にしてください。"子孫がそれを誤ることのないように"」

イスラエルの民が「こっち（この乾いたところ）にいくべきなの？」と考える姿が想像できますか？

「いいよ、君は残って、僕らは行くからね。」くだらない言い方ですが、要点はわかりますよね？

明確さ：これ以上の明確さはないというくらい。前後に揺れることはなく、どれどれ... こっちの方がいいかな？ではなくて。繰り返しますが、愚かな例えをお許しください。そして三日たって、そして、この水のところに来ても飲むことができず、「私たちに何を飲めと言うのか？」という感じです。待ってください。からかっているのですか？ 3 日前死ぬかと思った時、神が紅海を分けてくださって、あなたがたは乾いた地の上を歩き、エジプト人は殺された。そして、神が水を与えてくださらないのではないかと心配しているのですか？

「モーセが、（これは序盤で、後になってとても面白くなります。）神とモーセの会話の中で、彼らがイスラエルの民（イスラエルの子どもたち）を完全に見限ったような場面があります。モーセはまるで「あなたの民をどうしますか？」

そして神は、「私の民？あなたがあなたの民をどうするのかモーセ？」彼らが民の所有権を取らず、ひどくなります。とにかく、そこまで話すつもりはありません。神の御言葉が大好きです。

**「モーセが主に叫ぶと、主は彼に一本の木を示された。（十字架の描写です）彼がそれを水の中に投げ込むと、水は甘くなった。（十字架上の御業の完了の描写です。）主はそこで彼に掟と定めを授け、そこで彼を試み、」（出エジプト 15 : 25）**

「そして言われた。（お聞きください。）『もし、あなたの神、主の御声に（他の声を聞いてはいけない）あなたが確かに聞き従い、主の目にかなうことを行い、その命令に耳を傾け、その掟をことごとく守るなら、わたしがエジプトで下したような病気は何一つあなたの上には下さない。

”わたしは”主、(エジプト=世の予型にもたらしたのは、) あなたを癒す者だからである。」(出エジプト 15 : 26)

「民数記の 21 章 4 節」から別の例を紹介しましょう。

「彼らはホル山から、エドムの地を迂回しようとして、葦の海の道に旅立った。しかし民は、途中で我慢ができなくなり、」(民数記 21 : 4)

「神とモーセに逆らって言った。お許しいただきたいのは、記述にないのですが、私は強調するために「またか！」という言葉をつけ加えたいと思います。...なぜ、あなたがたはわれわれをエジプトから連れ上って、この荒野で死なせようとするのか。パンもなく、水もない。われわれはこのみじめな食べ物に飽き飽きしている。」(民数記 21 : 5)

「お～私のマナが好きではない？」この話しには、モーセの祈りが無いのが特徴的です。対話も交渉も、何もかもありません。これを見ると、突然の出来事という印象を受けます。何が突然起こったのでしょうか？

6「そこで主は民の中に燃える蛇を送られた。蛇は民にかみついたので、イスラエルのうちの多くの者が死んだ。」

いかがでしょうか。

「民はモーセのところに来て言った。『私たちは主とあなたを非難したりして、罪を犯しました。どうか、蛇を私たちから取り去ってくださるよう主に祈ってください。』モーセは民のために祈った。」(民数記 21 : 8)

正直なところ、私だったらそうしなかったでしょう。だからこそ、神はおそらく私をそんな立場には置かれていただろうと言っているのです。「つい 10 分ほど前には、そんなこと言ってなかったのに！」

「すると主はモーセに言われた。『あなたは燃える蛇を作り、それを旗ざおの上に付けよ。(こういうのではなく、十字の形です) かまれた者はみな、それを仰ぎ見れば生きる。』」(民数記 21 : 8)

「モーセは一つの青銅の蛇を作り、それを旗ざおの上(十字架)に付けた。蛇が人をかんでも、その人が青銅の蛇を仰ぎ見ると生きた。」(民数記 21 : 9)

一緒にこれについて考えてほしいのです。この愚かさを考えてみてください。イスラエルの民は、神が遣わした蛇に噛まれて、右往左往しながら死んでいきます。そして突然視線の先には、モーセがこの青銅の蛇を持って、この十字架の上に置いているのが見えています。そして、"これを見ればあなたは救われる"と言われるのです。「何ですって?」「私はあなたを信じません。」皆さんついてきてますか? そうした人たちは、救われて生きました。そうしなかった人はそうではなかった。なぜでしょうか? なぜなら、彼らはそれを信じなかったからです。滅びゆく者にとって、十字架は愚かなものです。「それはつまり、頼みますよ! 見れば癒されると信じろというのか?」「信じることは見ることだと言うのか? いや違う。そんなこと起こらない。」

「もし彼らが信じれば、十字架上の蛇を見て救われるだろう。」何が言いたいかわかりますね?

これはまさに、聖書の中で最も有名な節、「ヨハネの福音書 3 章 16 節」の文脈の中で、イエスがおっしゃることです。先に、「ヨハネの福音書 3 章 14 節」はどうですか? イエスが話しておられます。

「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子も上げられなければなりません。」(ヨハネ 3 : 14)

「それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです。」(ヨハネ 3 : 15)

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人とし

て滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ 3 : 16)

皆さん、類型が分かりますか？ 実際、教会のウェブサイトや YouTube でも公開されているはずですが。民数記の学びの際、これはとても魅力的な類型論の学びでした。この蛇は、もちろん罪の象徴です。青銅は、裁きの象徴です。木は、十字架の象徴です。そして私たちは、あの十字架で人類の罪を背負ってくださった方を見上げるのです。そして私たちが信じることができれば

「信じる者は、誰でも救われるのです。」(ローマ 10 : 13 参照)

補足しますが、現代の医療の象徴は、この木の上の蛇です。皆さんご存知でしたか？ もちろん、2 匹目の蛇をどこで思いついたのかは知りませんが、世に任せましょう、彼らがめちゃくちゃにしてくれます。この翼がどこから来たのかもわかりませんが、これはそれが由来したところで、現代の薬学の象徴で、一(笑)一(本編・各預言アップ参照) YouTube で見られなくなった方は、新サイト : JDFarag.org にアクセスください。(さっきのは聞かなかったことにして。)これが医療の象徴です。これが製薬業界の象徴です。それは、イエス・キリストの十字架上での完成された御業の描写であり、予型なのです。

先に進めて、「ヨハネの福音書の 11 章」を見てみましょう。イエスが、ラザロを死からよみがえらせたという記述があります。38-40 節に注目していただきたいと思います。

「イエスは再び心の内に憤りを覚えながら、墓に来られた。墓は洞穴で、石が置かれてふさがれていた。」(ヨハネ 11 : 38)

「イエスは言われた。『その石を取りのけなさい。』死んだラザロの姉妹マルタは言った。『主よ、もう臭くなっています。四日になりますから。』」(ヨハネ 11 : 39)

キングジェームス訳だっと思いますが、悪臭を放つと訳しています。"悪臭を放つ"という言葉が気に入っています。

「イエスは彼女に言われた。(皆さんに、イエスがマルタに仰ったことを良く聞いてほしいのです)そして救世主の側に、軽蔑や嫌悪があるとは決して思わないでください。それは、思いやり、恵み、優しさ、慈しみ、愛です。『信じるなら神の栄光を見る、とあなたに言ったではありませんか。』」(ヨハネ 11 : 40)

いえ、イエスは、見ることは信じること、ではなく、信じるが見ることだと仰っています。信じるが見ることなのです。お聞きください。「ヨハネの福音書 20 章 24~29 節」まで早送りします。悪評高いと思われるトマスのこの記述があります。私たちは彼のことを親しみを込めて「疑い深いトマス」と呼んでいます。そして、多くの人が天国でトマスに謝罪することになると思います。ペテロにも謝らないといけないと思います。彼は多くの牧師にとって、多くの説教の題材となっています。さて

#### ヨハネの福音書 20 章

24 十二弟子の一人で、デドモと呼ばれるトマスは、イエスが来られたとき、彼らと一緒にいなかった。

25 そこで、ほかの弟子たちは彼に『私たちは主を見た』と言った。しかし、トマスは彼らに(これがトマスです)『私は、その手に釘の跡を見て、釘の跡に指を入れ、その脇腹に手をいれてみなければ、決して信じません』と言った。

トマスにとって、見るのが信じる事だからです。「私はそれを見るまで信じない！」それを何度聞いたことがありますか？ それを何回言ったのでしょうか？

26 八日後、弟子たちは再び家の中におり、トマスも彼らと一緒にいた。戸には鍵がかけられていたが、イエスがやって来て、彼らの真ん中に立ち、『平安があなたがたにあるように』と言われた。」

27 それから、トマスに言われた『あなたの指をここに当てて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、

わたしの脇腹に入れなさい。繰り返しますが、彼がこのように仰るとき、彼が軽蔑して仰っているとは思わないください。...信じない者ではなく、信じる者になりなさい。』

28 「トマスはイエスに答えた。『私の主、私の神よ。』

そして 29 節でイエスが彼に仰ることをお聞きください。

29 イエスは彼（トマス）に言われた。『あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ないで信じる人たちは幸いです。』

皆さんそれが分かりますか？ 見ることは信じること 対 信じることは見ること。

このことは、主が私に教えてくださっている 3 つ目の教訓に結びつきます。それは、聖書預言を信仰によって信じることです。言い換えてみましょう。神の御言葉（聖書）の三分の一が預言です。これが聖書預言に従って終わる方法であるという信仰、そして、この世の生活が決して正常に戻らないという確信です。

ヘブル人への手紙 1 章 11 節

「信仰は、望んでいることを保証し、こんな風に考えたことはありませんか？ 私たちは何を望んでいるのでしょうか？...目に見えないものを確信させるものです。」

私たちは、見ていないものを信仰によって信じるのです。ヘブル人への手紙の著者が言っています。

「目に見えないものを確信させるもの」私たちは誰を見たことがないのでしょうか？ イエスです。

それは、視覚の対極の「信仰」と呼ばれるものです。私たちは信じていますが、見たことはありません。望んでいることの実体を信じること、それが信仰です。この「希望」という言葉に少し注目してみましょう。ちょうど先週、テトス第 2 章が、先週だったか、先々週だったか。私は覚えていません。すべてがぼんやりとしています。私たちは祝福された希望について話しました。それが希望です。「ええ、でも。」「いいえ、それは信仰によるものです。」因みにエペソ 2 章 8-9 節に、「恵みにより、信仰によって救われました。」とあります。信仰とは？ ここにあります。信仰とは、望んでいることの実体（保証）であり、見えないことの確信です。これが、信じるが見ること。信仰の目で、信仰によって見ることです。どこに行けば、その信仰を手に入れることができますか？ お～尋ねて下さり嬉しいです。

ローマ人への手紙 10 章 17 節

「ですから、信仰は聞くことから始まります。キリストについてのことば（神の御言葉/聖書）を通して実現するのです。」

ローマの教会に手紙を書いたパウロは、なぜそのようなことを言ったのでしょうか。ここで考えてみましょう。あなたの聞くことがどのようなものであれ、そこにあなたの信仰を置くことになります。なぜなら、信仰は耳から（聞くことから）来るからです。それが原則です。ですから、科学を聞いているなら、私は科学に信頼を置きます。なぜなら、信仰は聞くことによって生じるからです。だからこそ、彼は「信仰は聞くことによって生じる」という原則を明確に確立したのです。しかし、信仰は神の御言葉を聞くことによってもたらされます。皆さん、誰の声を聞いていますか？ 誰の話聞いていますか？ あなたが誰に耳を傾け、何を聞いているかは、あなたが信仰を得、信仰を置いているものであると言わせて頂きます。それは、このような方法で、ところで、その理由は、あ～今は言わないほうがいいですね。ちょっと待ちます。それは、神の御言葉を聞くことで得られる、この信念、信仰によってです。繰り返しますが、私は主が教えてくださったことを自分のために話しています。私はこの世への信頼を手放しています。私はもうこの世に何の希望も持っていません。私は完全にこの世への信頼を完全に失い

ました。私にはこの世に希望は全くありません。

### ヨハネの福音書 12 章 25 節

「自分のいのちを愛する者はそれを失い、この世で自分のいのちを憎む者は、それを保って永遠のいのちに至ります。」

繰り返しになりますが、この 4 つ目は日々の戦いだということを手早く言わせてください。この世やこの世のものを手放す、日々の信仰の戦いです。さて、これで前述の「決めかねる」という慣用句に全部繋がります。特に、現在の世界的な危機に関連して、私がこのように呼ぶのには理由があります。ではここで一旦 YouTube と Facebook でのライブ配信を終了します。完全版の残りの部分は、新サイトをご覧ください。

OK 一本編ですー

先週、今日のアップデートについて主を求めていたときのことですが、私は、1 年前のこの日の「預言・アップデート」を再確認することを示唆されました。2020年3月29日です。今日は、2021年3月28日です。なんとという一年だったでしょうそれで私はそのアップデートを再見しましたオンラインの方、リンクはサイトの下部にあります。文書版もご覧いただけます。実際そのアップデートの文書版を引っ張り出しました。その一部をご紹介しますと思います。引用します。1 年前、2020年3月29日のアップデートです。

「私は、これが究極的に、教会携挙、反キリストの出現、7年の患難時代（因みにこの順番です）を導くものではないかと、心から信じています。私は神の御言葉と、御言葉の神に忠実でなければなりません。皆さんに聖書に書かれている次の出来事について、愛をもって真理をお伝えします。具体的には、聖書の最後の書物「ヨハネの黙示録」に書かれています。つまり、この世の混沌と無秩序の中から新世界秩序が出てくるといことです。今起こっていることは、まさに聖書が終末に起こると語る通り、世界統一政府、世界統一経済、世界統一宗教のため完璧な嵐を作り出しているのではないかと思います。なぜなら、このコロナウイルス大流行は、政府を崩壊させ、経済を破綻させ、宗教を統合させる性質を持っているからで、今まさにそうなっているように思えます。私は、クリスチャンである私たちにとって、これは携挙で終わるものだと確信するようになりました。」

さて、なぜ私がこの話をしているのでしょうか？ 1 年前のその日、本当に信じていたからであり、その信念は、今日まで揺らいでいません。なぜでしょうか？ なぜなら、信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。（ヘブル 11:1/新共同訳）そしてその信仰は、御霊が神の御言葉を通して、神の民に語る事に聞く耳があるかどうかで決まります。それが理由です。だからこそ、私にとっては --こう言っているいいですか？-- その日から”紅海の一目瞭然”があったのです。ちなみにこれは、世界経済フォーラム「イベント 201」を知る前で私は何も知りませんでした。ワクチンどころか、こんな情景が来るとは思いもしませんでした。しかし、その情景は目に見えるものです。それは、言葉遊びですが、見た通りに進んだわけではなく、「見られる」と語る神の御言葉に従って進みました。これこそが来るべきものであり、神の御言葉、聖書預言を聞くことによって、信仰が生まれるところです。私はこれを聞いてきて、そこに信仰が生じ、だから私はそれを信じ、それを信じているからこそ、ところで、私はそれを信じているのですが、何か疑問がありますか？ 私は心から信じていますし、だからこそ、この先の展開が見えるのです。皆さん点と点が繋がりましたか？ そうであればいいのですが、そうでなければ、もう



これ以上他はありません。さてその日から1年後の今、2021年3月28日。あえて言えば、終末の時の聖書預言について、神の御言葉で語られていることが全て実現しているということです。そして、だからこそ、私は確信しています。最終的に全てがうまくいくわけではありません。なぜなら、神の御言葉によれば、このように終わるからです。繰り返しになりますが、私はこの一年間、主が私に教えてくださったことをお伝えしているに過ぎません。私は今日皆さんの前に立って、こう言う時、主が私の心をご存知です。「私の希望は、この世やこの世の事にはありません。」「私の希望は他の何でもないイエスの血潮と正義にあるのです。堅固な岩であるキリストの上に私は立つ。他のすべての地は沈みゆく砂である。ラッパの響きと共に、イエスが来られる。あ〜私が彼の中に見いだされるように。」(讚美歌名：The Solid Rock) 昔の数多くの貴重な時代を超えた賛美歌の一つに過ぎません。もう一つ考えていました。「世を後ろに、十字架を前に、私はイエスに従う事に決めた。」(讚美歌名：私はイエスに従おう)

ところで、この賛美歌が作られた経緯については、非常に興味深い話があります。実際保存用ノートを見て、再確認しました。私の書斎には、それらの賛美歌にまつわる話を紹介した本があります。「私はイエスに従おう」に関しては、あからさまで何も言えません。「誰も一緒になくとも、私はついていく。世を後ろに、十字架を前に、私はイエスに従う事に決めた。」あなたはそれを手に入れればいい。それってまた別の讚美歌ですよ？ 「私にはイエスをください。」「この世界を手に入れればいい。私にはイエスをください。」ああとところで、携挙までは待たなければなりませんね、そうすれば手に入ります。それはあなたのものです。言いませんが。私の希望は主にあり、主のみにあります。お許しいただけると思いますが、私にはこの国に、何の希望もありません。私の希望はこの国にはありません。私はこの国を愛していますが、私の希望はアメリカにはありません。私の希望はイエスにあります。そして、キリストが携挙で来臨されるという希望は、私たちの祝福された希望だけでなく、私たちの唯一の希望です。大胆にもう一步踏み込んで、教会携挙は、私たちが想像するよりも早いと言わせて頂きます。ご辛抱頂いて、私たちがどれほど近づいているかを物語る、先週の100以上の記事の中から、2つだけご紹介したいと思います。私がこれらの記事を引用したときに、皆さんに考えてもらいたいのは、

このテンプレート：信じることは見ること、信仰は聞くことで生じること、神の御言葉によって聞くこと、を重ね合わせることです。そしてその信仰によって、私たちは信仰の目で見ることができるようです。なぜなら、私たちは終わりの時に起こることを知らされているからです。このように今、そのテンプレートを利用してみましょう。まず、イギリスのガーディアン紙のニック・コーエン氏の「ワクチンを受けない人を攻撃するのは時間の問題だ」という論説をご紹介します。その内容をご紹介します。

「半年後のイギリスの状況を想像すると、パンデミックが、階級や人種間の争いに繋がるのがよくわかる。執念深い人は、コロナを選択した病気と表現するようになるだろう。その犠牲者は、自らの愚かさの犠牲者となるだろう。ワクチン接種を受け入れたに違いない。もしワクチンが感染を抑制する可能性があるなら、自分自身や他の人々を守ることができたかもしれない。(が、そうではありません。ワクチンですらない。) 理性的な人は、なぜ”無知な妄想”のために自由を制限されることを受け入れ続けなければならないのかと問うだろう。雇用者は、パブ、航空会社、レストラン、ホテル、別荘などの経営者が、免疫パスポートによって事業を救える可能性がある場合に、保護証明を要求するのを認めることに、どんな論拠があるのか知りたがるだろう。個人的な話だが、(お聞きください) もしあなたの大切な人が癌にかかり、NHS(英国国営医療サービス)の治療が遅れ、秋になったらどのように感じるだろうか？なぜなら、不必要に感染したコロナ患者の世話をしなければならなかったからだ。」彼が今言ったことを

聞かれましたか？ 数ヶ月という時間の問題です。秋頃だと、彼はすでに推測しています。

「ワクチンを打たず、私の愛する人が癌で死んだら、それはあなたの責任です。」「まあ、ワクチン未接種ですか？」「ワクチン接種を拒否するのですか？」「私のビジネスが閉鎖されたのはあなたのせいだ。」

2月25日、ロイター通信は、興味深い記事を掲載しました。「取り残される？イスラエルのワクチン拒否者は経済が再開するにつれて排除を恐れる。」この記事引用する前に、「拒否者」とは何かを説明させてください。旧ソ連で生まれた言葉で、移住を拒否された人、特にイスラエルへの移住を禁じられたユダヤ人を指します。また、「拒否者」とは、命令や法律に従うことを拒否する人のことです。いくつか引用します。これが先月なのを覚えておいてください。状況は急速に変化しています。「イスラエルでは半数の人が1回目の接種をし、1年間の封鎖やリモートワークを経て、今週から経済活動を開始した。しかし、いくつかの活動は、ワクチンを接種していない人が立ち入り禁止とみなされている。健康上の理由で検査を受けられない人や、原則的に検査拒否する人を憤慨させている。すでに、ワクチン接種していない従業員をオフィスに入れないことを計画している企業もある。権利団体は、彼らの職を失う可能性がある」と懸念している。」彼らは売買ができなくなるでしょう。それはどこかで聞きました。お聞きください。引用します。

「ワクチン接種しない人は取り残される。」興味深い言葉の選択です！！（引用）

「これは、ここ数週間で警告を発したユリ・エデルスタイン保健相の発言。彼は、劇場やジム、死海沿いリゾート地の利用など、新たに導入されたワクチン接種者への特典が、接種するためのインセンティブになると明らかにした。」わお〜！ まさか！ この2つの具体的な記事を紹介する理由は、繰り返しますが、まさにこの方向に向かっていると、私が本当に信じているからです。まさに7年間の患難時代に、獣のしるしを拒否し、"取り残される者"がいると黙示録の神の御言葉が語られた通りです。彼らはいわば、"拒否者"になると言ってもいいでしょう。反キリストを拒否し、イエス・キリストを崇拝するようになります。黙示録20章4節、これは教会ではありません。花嫁ではありません。彼らに天国で会えますが、花嫁ではありません。彼らは患難時代に救われる人々です。しかし彼らは天国にいますし、千年王国にもいます。でも花嫁ではありません。

#### 黙示録 20章 4節

「また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たちがいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。また私は、イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間、王として治めた。」

私たちは彼らを親しみを込めて「患難時代の聖徒」と呼びます。ここが核心です。私は良い知らせがあります。この場にいる人も、オンラインで見ている人も、ラジオで聞いている人も、皆さんに良い知らせがあります。第一の朗報は、イエス・キリストにあって新生した信者は、7年の患難時代が始まる前に携挙される事です。2つ目は、もしイエス・キリストを信じていないのであれば、永遠の命を得るため、人生で最も重要な決断を今日、することができるということです。今からでも遅くありません。しかし聞いてください。いずれ手遅れになる時が来ます。そしてあなたは取り残されるでしょう。こう仰る人がおられることは十分理解しています。「7年の患難時代にまだチャンスがある。」よろしい。あなたに質問があります。患難時代前にイエス・キリストのために生きることを望まなかった人が、なぜ患難時代中に、イエス・キリストのために死ぬるのですか？ これが私たちが毎週「聖書預言・アップデート」をする理

由です。だからこそ、私たちはイエス・キリストの福音と、子どもにでもわかる簡単な救いの説明「救いのABC」で締めくくるのです。福音/ゴスペルとは何でしょうか。福音は、「第一コリント 15 章 1-4 節」と「第一テサロニケ」に記されています。イエスが（地上に）来られ、十字架にかけられ、葬られ、3 日目によみがえられ、彼はいつか戻って来られます。それが福音/ゴスペル=良い知らせです。それが良い知らせであり、福音であり、福音という言葉の意味なのです。

「救いのABC」とは何でしょうか。再度、非常にシンプルで、子どもにでもわかる単純な救いの説明です。

A：自分が神に背いた罪びとであるのを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。私は、ちょっとお許しいただけますか？

「あなたは汚い、腐った、醜い、罪びとです。」とにかく私が罪びとの親分ですよね。罪びとには何が必要でしょうか？ 救い主です。ローマ人への手紙 3 章 10 節にこう書かれています。

**「正しい者はいない。一人もいない。」**

ローマ人への手紙 3 章 23 節が理由を教えています。

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている。」罪と言う言葉の意味は、的外れという意味です。実はアーチェリー用語なんです。こういう事です。もしあなたが射手として、矢を的に射て、的外を外してしまうと、何と言われるでしょうか。「あなたは罪を犯した！」「私を罪びとと呼ぶのですか？」そうあなたは的外れで、満たないという、罪を犯したのです。私たちは皆、神の義という完全な的の基準には達しません。ローマ人への手紙 6 章 23 節 --これを法廷での話にしたいと思います。この設定を思い浮かべてみてください。あなたは、宇宙の裁判官がいる永遠の法廷に立っています。そして今、あなたは起訴され、評決を言い渡されます。評決は？ 一有罪です。それでは、いよいよ判決の段階に入ります。この永遠の法廷にいる宇宙の裁判官は、あなたに死刑宣告します。悪い知らせですよ？ 死刑宣告されたことで、あなたの一日は台無しで、実際あなたの人生は台無しになってしまったのです。その理由は、

**「罪の報酬は死です。」(ローマ 6:23a)**

それが悪い知らせです。では良い知らせは？ お聞きになる準備はできていますか？

**...しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。」(ローマ 6:23b)**

あなたは自分のものではありません。あなたは代価を支払ってもらって買い戻されました。イエスが全額支払ってくださいました。彼がその贈り物（賜物）の代価を払ってくださいました。もしあなたが支払うなら贈り物ではなく、購入した物です。皆さんついてきてますか？ 彼がその贈り物を購入し、私たち一人一人に差し出してくださっているのです。この永遠の命の贈り物は、十字架上でご自身の命と血潮をもって完全に支払われました。

B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると 神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。

ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

**「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)**

そして最後に C C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。

再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節

「口でイエスは主であると公に言い表わし(Confess)心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

その理由は、

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10:10)

最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節、決定打です。

「主の名を呼び求める者は誰でも救われる。」(ローマ 10:13)

この神の教会に多くの訪問者や新しい方々がおられることを知っています。あなたに切にお願いしたいのです。そのため私たちはとても祝福され、あなたを歓迎し、愛しています。ここにお越しになられ大変うれしく思います。皆さんの中には、まだお会いしたことのない方や、お知り合いになる機会のまだない方もたくさんいらっしゃいますので、私が勝手に決めつけることはできません。一度も主の御名前を呼び求めたことがない方は、今日がその日です。もう先延ばしにされませんように。永遠のいのちという、人生で最も重要な決断です。そして、もしオンラインでご覧なのであれば、主はあなたをオンラインに導かれました。または他の方法で聞いておられるのでしょうか。そして主の御名を呼び求めたことがないなら、今日あなたに心から願います。「今日、誰に仕えるかを選んでください。」「いつまで2つの異なる神の間で、どっちつかずによろめいているのですか？」

「もし主が神であれば、主に従い、もしバアルが神であれば、バアルに従え。」(第一列王記 18:21)

バアルを勧めているのではありません。皆さんお分かりですね。さっと証を2つご紹介していいですか？1つ目は、「JD 牧師へ。ドイツからご挨拶します。この9ヶ月の間、あなたの「聖書預言・アップデート」を見て、救いのABCを使って福音を広めるため、聖霊が人々に与えるアイデアにますます刺激を受けています。主が私の心に置かれたことを、あなたに書きたいと思いました。私は慢性疾患で、2020年冬から家に閉じこもっています。医者に行ったり、治療を受けたりする以外は、ほとんど家から出ません。私は、絵を描くことで心が癒されることを知り、絵を描き始め、友人にも絵を描いたりしました。自分で簡単にチラシをデザインできるオンラインショップを発見しました。今や、郵便受けに何かを入れることはほとんど不可能です。政府の規制が複雑で、コロナ規制で店の前にブースを出すことが禁止されています。私たちには、ポータルサービスを雇うという法的な選択肢があります。DHL ポストマンがチラシを一般家庭にお届けしているのです。私たちが住むバイエルン州の5000世帯を対象に夫婦でつくった「復活のフライヤー」です。救いのABCについてさらに質問がある場合のためにあなたのウェブアドレスを載せ、ドイツのメールアカウントを作りました。主はご忠実で、私にこのアイデアを与えてくださいました。私一人では、そのアイデアを考える力はありません。私たちの主であり、救い主である彼にすべての栄光があります。このチラシを通して、救われていない人々がこの最後の数秒で救われることを祈ります。マラナタ。マリー・ルイズより。」

2つ目は、ビルボードを始めたあの兄弟からです。「私の住む地域の最新情報です。地元の看板屋に制作してもらったバナーやサインを、事業所の40フィートコンテナ側面に掲示しています。毎日、たくさんの方が通りますからね。何人かのたましいが諭され、救われるようにお祈りください。」主があなたの心にそれを置かれるとき、そうなるのだと願います。というのも結局のところ、イエスを人々に、人々をイエスに、できるだけ早く導くこと、それがすべてではないでしょうか。続きです。

「"移動式サントレーラー"を完成させたいと思っています。またこの同じバナーを高速道路に出すために購入しました。(私はこの兄弟が大好きです)より多くの人に見てもらえるように、特定の交差点に

設置します。私がこの話をするのは、他の人たちがそうするよう、あるいは既にされている人たちがさらにされるよう、できれば励ましたり駆り立てたりするため以外の理由はありません。続けている事を続ける！ 話題にするのです！ どんな方法でもいいから出してください。時間は短く、それは控えめに言っても重大です。畑は熟しているのに/収穫が多いのに（これ大好きです）、働き手が少ないのです。

（マタイ 9：37 参照）

私たちの祝福された希望を探している人はほとんどいなく、ましてやそれを信じている人はいません。それは聖書にはっきりと書かれています。」（預言アップのメモを、事前に彼に送ってはいません。）

「"信じること"は"はっきり見ること"です。それは聖書にはっきりと書かれています。もし彼らがそれに気づかないとしたら、その霊的な盲目さはどれほどの深さでしょうか？ つまり、目が見えるはずのところが見えなくなってしまうのは、本当に何のためなのでしょう？ JD 牧師、神があなたを祝福されますように！ 異母兄弟より。」 --しかし、父は同じです！ --

ご起立ください。賛美チームは上がってきてください。祈りで締めくくります。私は、"最後の1つ"ともう言いましたか？ まだ最後の1つがあります。ご心配なく。ここで最後に1つ、すぐに分かることがあります。もう時間の問題だということに同意してくださいますか？ もう時間がないということに？ 時は迫っており、私たちの贖いは扉口に來ています。ルカの福音書 21 章 28 節でイエスが仰ったように

「**これらのことが起こり始めたら**、（これを見てください、今思いつきました -- 主よ、ありがとうございます）（私は、あなたが助けて下さるのが大好きです。私にはすべて助けが必要だからです。）これらの事が起こり始めるのを見たら、（信じることは見ることなので、信じなければ見ることはできないのがわかりました）これらの事が起こり始めるのを見たら、（自分が信じていたことが）起こり始めるのを見たら、**身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。**」（ルカ 21：28）

主よ、早く来てください。マラナタ。主イエスよ、ありがとうございます。主よ、今日、このあなたの御言葉を聞いた人で決めかねてる方がおられるなら、その方が永遠の命のために、人生で最も重要な決断をされるよう祈ります。主よ、永遠のいのちという贈り物に感謝します。その贈り物を、あの十字架の上で、あなたの血潮で完全に買い取ってくださったことに感謝します。

イエスの御名によって祈ります。アーメン。

---

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャーペルカネオヘ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7